

# 給与支払報告書（総括表）記入例

○給与支払者の個人番号又は法人番号

給与支払者が**個人事業主の場合**は12桁の**個人番号**、**法人の場合**は13桁の**法人番号**を右詰めで正確にご記入ください。

特別徴収義務者指定番号

0080000XXX

○特別徴収義務者指定番号

貴社独自の総括表を使用する場合、別府市が附番している特別徴収指定番号をご記入ください。

※給与支払報告書のマイナンバーは右詰めで記入をお願いします。

給与支払者の個人番号又は法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3
フリガナ	カ)マルバツショウジ ダイヒョウトリシマリヤク ベップ イチロウ												
給与支払者の名称又は氏名	株式会社 ○○××商事 代表取締役 別府 市郎												
事業所の所在地	〒 874-0000 別府市上野口町○番○○号												
書類の送付先 <small>（上記の所在地と異なる場合）</small>	〒 同上												
連絡先及び担当者	所属 経 理 課 給 与 係 電話 0977-00-0000 内線 1001 氏名 温泉 次郎												
会計事務所等の名称	○○△△ 税理士事務所 電話 ( 0970-00-0000 )												
連絡欄													
事業種目	小売業												
受給者総人員	50 人												
別府市への報告・提出人員	A 特別徴収 (市県民税 給与引き) 25 人												
	B 普通徴収 (市県民税 個人納付) 5 人												
	報告人員 (A+B) 30 人												
年末調整について	前職分を含んでいますか <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 該当者なし その旨を摘要欄に記載していますか <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ												
納入書の送付	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要												

○フリガナ、給与支払者の名称又は氏名、事業所の所在地

貴社独自の総括表を使用する場合、給与支払者の名称(フリガナ)・所在地は正確にご記入ください。(ゴム印でも可)

○会計事務所等の名称

給与支払報告書作成に関わる会計事務所等があればご記入ください。

○特別徴収義務者指定番号

貴社独自の総括表を使用する場合、別府市が附番している特別徴収指定番号をご記入ください。

○事業種目

事業の内容をご記入ください。  
(例:百貨店、建設業、不動産業、服飾小売業、日用品販売業 等)

○受給者総人員

令和8年1月1日現在事業所等において給与等の支払いを受けている方(令和7年中の退職者を除く)の総人員(別府市以外にお住まいの方も含む)をご記入ください。

○別府市への報告・提出人員

[A 特別徴収]の欄は、市県民税を給与引きできる方の人数合計をご記入ください。  
[B 普通徴収]の欄は、退職者(予定者も含む)、その他の理由で市県民税の特別徴収(給与引き)ができない方の人数合計をご記入ください。  
[報告人員(A+B)]の欄は、[A 特別徴収]+[B 普通徴収]が、提出枚数と合致するか必ず提出前にご確認ください。

○年末調整について

年末調整の際、前職がある従業員の給与支払額等に前職給与分を合算していれば「はい」、合算していなければ「いいえ」、該当者がいなければ「該当者なし」を○で囲んでください。  
「はい」を○で囲む場合は、給与支払報告書(個人別明細書)の摘要欄に前職の支払者名、合算した給与支払額、社会保険料額、源泉徴収税額をご記入ください。記入がない場合は、前職分を含んでいないものとして取扱います。

○納入書の送付

令和8年度市県民税に係る特別徴収納入書の送付について、希望する場合は「必要」、希望しない場合(共通納税で電子納付いただく等)は「不要」の点線部分を囲んでください。

## 【給与支払報告書(総括表)提出に際してのお願い】

- ・ 印字している内容が現状と異なる場合は、朱書きで訂正してください。
- ・ 普通徴収とする従業員がいる場合、同封の「普通徴収理由内訳書(兼仕切紙)」が必須となります。  
確認できない場合は特別徴収として取扱いますので、必ず添付してください。